

事務事業名		大東町地域福祉センター管理事業		所属部	大東総合センター	所属課	市民福祉課				
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	福祉グループ	課長名	藤原 陽子				
	施策名	(25)地域福祉の充実		担当者名	宮川 容子	電話番号	0854-43-8162				
	目的	対 象	市民	意 図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。						
	基本事業名	(075)支え合う地域づくり		予算科目	会計	款	大事業	大事業名			
目的	対 象	市民	意 図	地域で支え合う体制をつくる。			中事業	中事業名			
					0	1	1	5	0	1	社会福祉施設管理事業
					0	5	1	0	0	1	大東町地域福祉センター管理事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理による管理・運営、貸館業務を実施。</li> <li>指定管理期間は平成27年度から平成29年度。</li> <li>指定管理者は雲南市社会福祉協議会。</li> </ul>	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。</li> <li>計画的な施設設備の更新及び修繕。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。</li> <li>計画的な施設設備の更新及び修繕。</li> </ul>				
② 活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	監督指導回数	回	4	4	4	4
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設利用者(貸館、デイサービス等)</li> <li>②大東町地域福祉センター</li> </ul>		ア	デイサービス利用者	人	7,468	7,519	7,295	7,350
			イ	貸館利用者数	人	2,481	1,754	2,226	2,400
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>①安心安全に利用出来る</li> <li>②適正に維持管理する</li> </ul>		ア	苦情処理件数	件	0	0	0	0	
		イ	施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0	
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
指定管理料; 10,668千円 補修費用; 2,473千円		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
	県支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円	6,186	6,260	6,357	6,256	
	一般財源		千円	10,471	12,320	6,784	4,412	
	事業費計(A)	千円	16,657	18,580	13,141	10,668		
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1			
	延べ業務時間	時間	24	24	24			
	人件費計(B)	千円	93	93	94			
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,750	18,673	13,235			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
毎年2~3件程度の修繕を行っている。建設から18年経過し耐用年数の問題もあるため、今後は計画的に更新工事や補修工事等を行っていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者から施設内の修繕要望があり計画的に行っている。</li> <li>空調設備は耐用年数が経過しており、計画的に更新工事を行っている。</li> <li>平成18年度から指定管理を行っている。</li> </ul>	指定管理者から築後18年経過し施設内の修繕要望がある。

事務事業名	大東町地域福祉センター管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	市民福祉課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設を適正に管理しており、安心安全に利用できている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	高年齢者・障害者が利用する地域福祉の拠点施設である。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理施設である。管理・運営・貸館業務は指定管理者として雲南市社会福祉協議会が行っている。大東図書館の運営業務は(株)キラキラ雲南が業務委託として行っている。今後は、大東図書館の改修・充実に合わせ図書館の運営業務を含め指定管理業務で行い事業費の削減を図る。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の業務時間である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	誰でも利用できる施設であり公平公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
大東図書館の改修にあたり、指定管理の方法を再検討する必要がある。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		